

第4回改定委員会における意見と対応について

■小野田地域

意見等	対応
小野田地域の土地利用と交通について、サンパーク周辺をどのように利便性や利活用の促進をするかの具体策を、次回の実現化方策に記載し、行政計画として示す必要があるのではないか。	土地利用としては、東沖にある県立サッカー場の集客性を高めるため、施設の機能充実が図られるよう、用途地域の変更を検討します。 交通については、サンパークを交通結節点として機能強化の実施に向けて検討します。
サンパークの集客力を活かすとあるが、市内だけでなく、市外からの集客もという強く押す表現を記載した方が良いのではないか。 また、サンパークにバスターミナルのような機能をつくれれば、バスの利用者も増えるのではないか。	P52の1. 土地利用に関する方針 1項目において、「おのだサンパークの集客力」→「おのだサンパークの市内外における集客力」に修正する。 また、サンパークにバスターミナルのような機能をつくることについては、サンパークを交通結節点として機能強化の実施に向けて検討します。
昭和55年以前の建物を取り壊して、その土地を売却する際3000万円の控除があるが、そのことは市民に周知されているのか。	「空き家の発生を抑制するための特例措置」について市のホームページに掲載し、周知している。また、相談については、市民生活課が窓口となり対応している。

■高千帆地域

意見等	対応
後潟から小野田駅に行く循環型路線バスの検討をしてほしい。また、梶方面から小野田駅につなぐ一番利用度の高い路線など、地域と地域をつなぐようにしてほしい	個別計画の「地域公共交通網形成計画」により検討していくこととなります。
小野田駅について、防府駅のように高架駅になると、学生にとっても便利になり、活性化する。そのことによりバスの乗客も増えるのではないか。	P59の2. 交通体系に関する方針 1項目において、「バリアフリー化及び南北連絡機能強化の検討を進め」と記載しています。

■厚狭地域

意見等	対応
国道316号沿いについて、丸久付近から厚狭高校までは明らかに商業地域であることから、商業地域として見直すべきではないか。	P68の厚狭地域のまちづくり方針図 丸久、マックスバリュ付近を商業集積地に修正し、厚狭高校までの国道316号沿いを店舗の立地も含まれる一般住宅地に修正しました。
デマンド型交通があるのは、市内でも厚狭地域のみである。デマンド型交通の導入経緯と実績等を示していただきたい。	第5回改定委員会において、資料添付とともに説明をします。
ワークショップに参加した際、田舎を活かしたまちづくりについて地元の方が誇らしく語っており、田舎を拠点にして町に仕事に行くのもよいのではと語っていた。 まちづくり方針の都市環境に関する方針の中で、旧山陽道の整備計画がないにしても、歴史資源等について削除しているのはどうか。	P66の3.都市環境に関する方針 2項目において、「旧山陽道の街並みや厚狭毛利ゆかりの史跡などの地域固有の歴史資源等を活用した魅力あるまちづくりに努めます。」と記載します。

■埴生地域

意見等	対応
埴生の既成市街地は、空き家が多く、道路も狭いが、どうにかならないか。	P73の1、土地利用に関する方針 2項目において、「既成市街地内の空き家・空き地については、適切な管理や利活用を促進します。また、埴生漁港周辺の密集した市街地については、道路整備や空き家・空き店舗の除却等による不燃化を促進し、防災上の安全性に配慮した地域づくりを進めます。」と記載しています。

■全体意見

意見等	対応
社会情勢を踏まえて、新規につくるよりもあるものを改善して使っていくということを、前段で示すべきではないか	P6の(2)山陽小野田市の都市計画上の問題・課題に示す、1)人口減少・少子高齢化の進行による都市経営の維持において、「限られた財政の中で、都市を運営していくためには、“ <u>既存の都市施設を有効に活用するなど</u> ”・・・」と追記しました。 P8の■3.地域の個性や資源を活かした持続可能な都市を創るにおいて、「これまで育んできた各地域の個性を守り活かすと同時に、市全体の資産である“ <u>既存の</u> ”産業基盤や都市基盤施設、・・・」と追記しました。